鳥森小学校

令和8年度

学校だより 11 月号

令和8年 10 月 30日発行

153-0051
目黒区上目黒 3-37-27
TEL 03-3719-1794
FAX 03-3719-2857
校長 丸山 智子

鳥森小 HP

心ゆたかで思いやりがある子　よく考えて進んで行動する子　からだも心もじょうぶな子

発信・発進！からすもりの授業

校長　丸山　智子

本校では、学び方を身に付け、自分の力で学習を進めていける子どもを育てていくことを、令和5年度から継続して推進してきました。学習問題の解決のために、子ども一人ひとりが自分で追究すべき問いをもち、学習計画を立て、どのように学習を進めるのか、自分で決めて学習を進めることを重視してきました。教師は、指導者であるけれども、状況によって学習の進行役であったり、支援をするサポーターであったり、子どもの学びの伴走者であることを目指してきました。本校では「複線型の授業」と呼んでいます。

複線型で授業を進めるとき、教室の風景は一変します。机は整然と並んでいるのではなく、子どもたちは、机を動かして自分が学習する場所を決めています。分からなくなったり、つまずいたりして学習が思うように進まなくなったときは、友達に聞いたり、教師に聞いたり、自分一人で抱え込むことはありません。授業中に立ち歩いても目的があれば教師がとがめることはありません。一つの問いをじっくりと追究していく子どももいれば、どんどん問いの答えを明らかにして、そこで生まれた新たな問いの追究に取り組む子どももいます。学習のゴールは同じですが、ゴールに至るまで自分のペースで学習を進めることができます。

3年生以上の子どもたちは、国語、社会、理科を中心に複線型の授業に取り組んでいます。1，2 年生は、教師と一緒に学習の進め方を学びながら、時に自分で選択する、自分で決める過程を経て、3 年生から本格的に始まる複線型の授業につなげていきます。

複線型の授業を参観して、以前にはよく見かけていた「先生、次は何をしたらよいですか。」と聞く子どもの姿が少なくなったと感じています。教師の指示で学習を進めるのではなく、自分で立てた学習計画を自分で進めていくことが、教室の風景を、子どもの学びを変えています。

来る11月6日（金）には、文部科学省研究開発学校として研究発表会を開催いたします。目黒区内だけでなく北は北海道から南は沖縄まで全国から教員や教育関係者の方が本校の複線型の授業を参観されます。からすもりの子どもたちのよさや成長を、複線型の授業を通して、全国に発信できることを願っています。

